


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

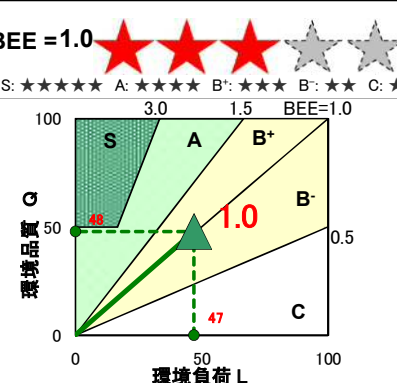
■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	小倉拘置支所庁舎	階数	地上8F
建設地	福岡県北九州市	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	687 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年8月 予定	評価の実施日	2015年11月26日
敷地面積	9,299 m ²	作成者	勝山, 杉田, 杉友
建築面積	3,790 m ²	確認日	2015年12月1日
延床面積	20,140 m ²	確認者	元松



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

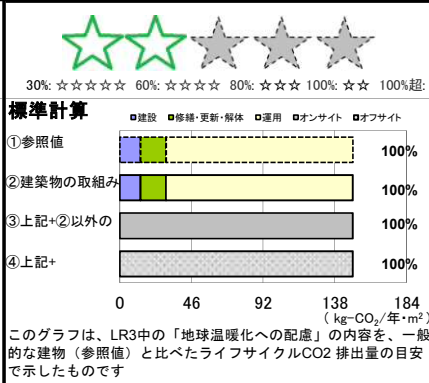
BEE = 1.0 ★★★★★



環境品質 G (縦軸) vs 環境負荷 L (横軸)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

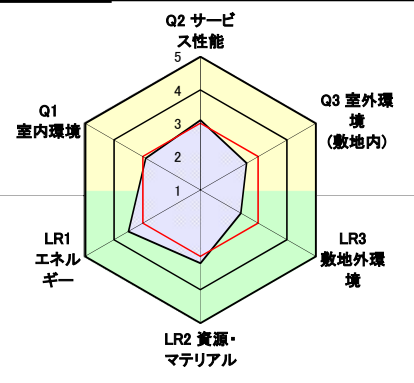
標準計算: 30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆ 80%☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:☆



①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

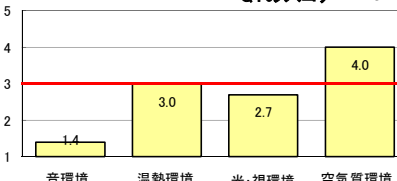


Q1 室内環境: 2.9
Q2 サービス性能: 3.1
Q3 室外環境(敷地内): 2.6
LR1 エネルギー: 3.5
LR2 資源・マテリアル: 3.2
LR3 敷地外環境: 2.4

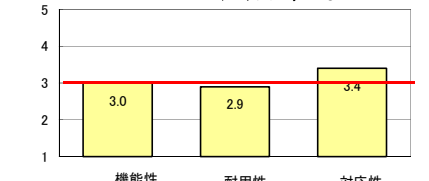
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

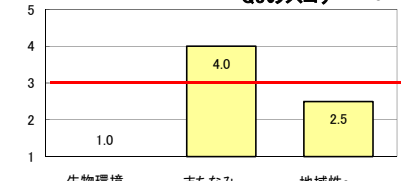
Q1 室内環境 (Q1のスコア= 2.9)



Q2 サービス性能 (Q2のスコア= 3.1)




Q3 室外環境(敷地内) (Q3のスコア= 2.6)

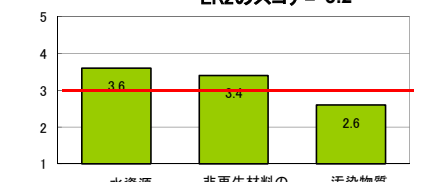


LR のスコア = 3.1

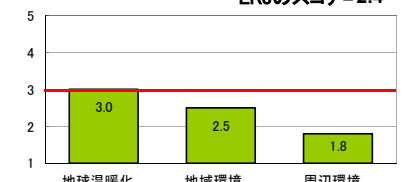
LR1 エネルギー (LR1のスコア= 3.5)



LR2 資源・マテリアル (LR2のスコア= 3.2)



LR3 敷地外環境 (LR3のスコア= 2.4)



3 設計上の配慮事項		
総合	地域とまちなみと調和し、拘置所の持つ負のイメージを払拭する外観デザインを採用している。また、環境負荷対策として、自然換気システム、クール&ヒートトレンチ、雨水利用システムを採用し、地球環境に貢献できる計画とした。	
その他	0	
Q1 室内環境	室内に使用する材料は、すべてF☆☆☆☆を採用している。室内の全居室について十分な換気量を確保している。	Q2 サービス性能
Q2 サービス性能	水周りの空調換気ダクトは、ステンレス製を採用している。重要室の空調設備は単独運転が可能な計画としている。十分な階高を確保し、設備更新を容易にしている。	Q3 室外環境(敷地内)
Q3 室外環境(敷地内)	地域の歴史や、隣接する官庁施設のまちなみと調和した外観としている。	LR1 エネルギー
LR1 エネルギー	自然換気システム、クール&ヒートトレンチを採用している。	LR2 資源・マテリアル
LR2 資源・マテリアル	雨水利用システム、雑排水利用システムを導入している。内装材はリサイクル材を多用している。	LR3 敷地外環境
LR3 敷地外環境	十分な駐車場、自転車置き場を確保し、サービス車動線も十分確保している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される